

-はじめに-

私は将来ウエディング業界で働きたいと考えている。私がウエディング業界を目指したのは昔、親戚の結婚式に行った時に、そこでドレスを着せていただいていた花嫁である私の親戚がメイクやヘアメイクを施されていくうちに段々幸せそうになっていくのを見て、私も同じ職業について花嫁さんを輝かせたいと思った事が初めのきっかけだ。さらに、高校で行っていた職業適正診断でもブライダルが向いているという診断があり、ブライダル業界にはどんな職種があるのか沢山調べて知っていく上で、よりブライダルの世界で働きたい気持ちが高まった。そして私の将来の夢はドレスコーディネーターだ。ドレスコーディネーターとは、結婚式や披露宴で使われる衣装をコーディネートする人のことだ。

多様化が進んできた現代では、同性の結婚式や国際結婚の方に沿った結婚式が開けるようになってきた。私は人生で一番輝ける結婚式という大きな舞台でお客様の衣装の提案をする手伝いもしたいが、他の事で問題を抱えているお客様がいれば力になりたいと思っている。そこで、国際高校の「多種多様な考え方」という点に目をつけた時に、宗教や文化・様々な問題が起こる国際結婚をしている夫婦の方々はどうのような問題を抱えているのか気になった。そこでまず、大テーマを『国際結婚の問題と解決』にした。

-序論-

まず、国際結婚とは国籍を異にする者の結婚だ。(コトバンク)婚姻件数は日本人同士で約56万件、それに対して国際結婚が2.2万件となっており、婚姻件数全体の3~4%もいる事がわかる。[\(https://ricon-pro.com/magazine/95/\)](https://ricon-pro.com/magazine/95/) 3~4%もの国際結婚の件数が多いという事は、それに伴い沢山の問題も生じている。調べていくと、給料の差、日本人との距離感、賃貸のトラブル、事実婚等の様々な問題が生じてしまった。そこで、賃貸のトラブルや、日本人との距離感、そして外国人労働者と日本人との給料の差等の国際結婚に関わらず外国人の方が日本に住み始める際に必ず立かかる問題である賃貸のことについて掘り下げて探究することにした。現在では、一部の賃貸は外国人も住めると書いてある所しか借りられない・騒音のトラブル・ゴミ出しのルールを守らない・未納のまま帰国してしまう・保証人がいないそして、外国人という理由だけで入居を拒否されるという問題が生じている。

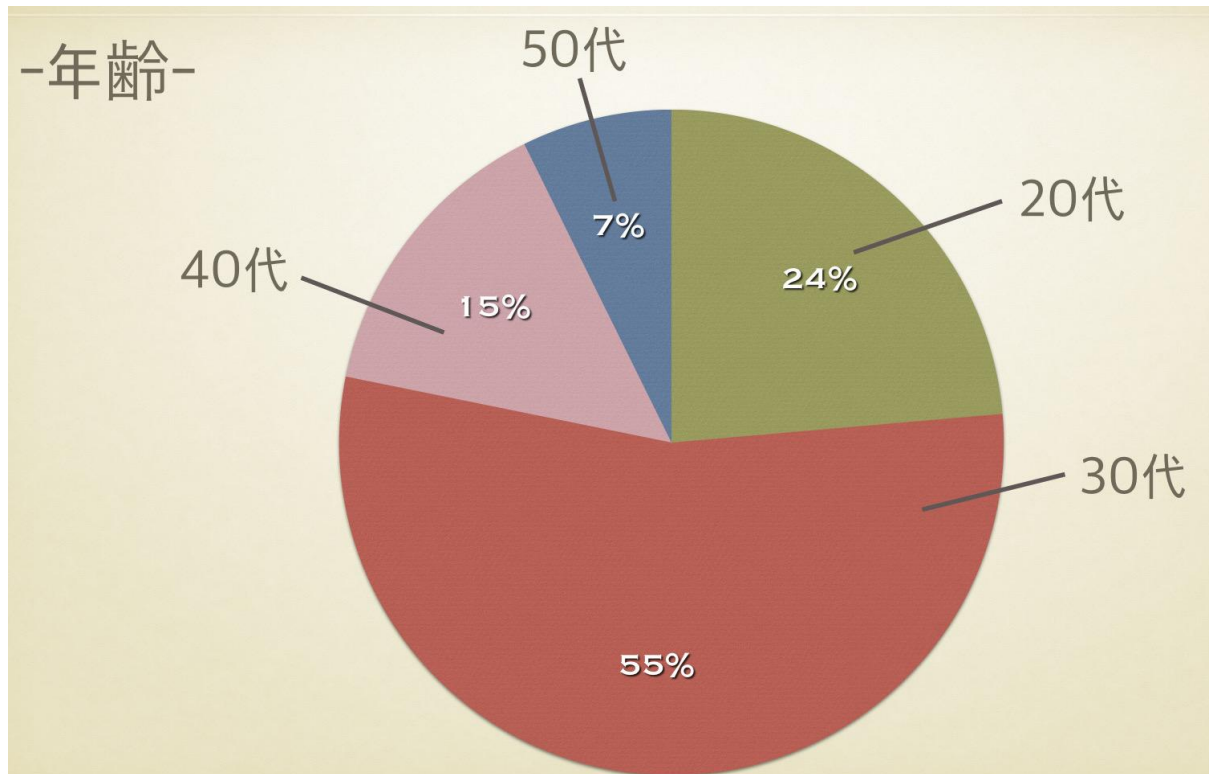
[\(https://international-love305.com/2019/09/29/real-estate-rent/\)](https://international-love305.com/2019/09/29/real-estate-rent/) 私達のグループではこれらの問題は大家さんとのコミュニケーションが取れていないことやルールを理解できていないことが理由、そしてこれらの問題はどちらか片方だけの問題ではなく双方に問題があるという事が理由だと分析した。

まず私たちは探究するにあたって、日本に住む外国人の賃貸についての調査方法を計画した。まず初めに、インターネットなどで今起こっている賃貸の問題を調べてどんな問題が起こっているのかを、日本人の目線からと日本在住の外国人の方の目線での、双方の現状を知り、そこで出てきた問題を元に、インターネットの意見だけでなく、実際に日本在住の外国人の方々にインターネットで出てきた、困っていることや距離があると感じたことなどをインタビューやアンケートを実施して、その問題が実際に起こっているのか、その他にも問題があるのかを知り、そこから解決方法を考えることにした。

インターネットで出てきた、騒音やゴミ出しの問題を元にそこから私達は6つの質問を在住外国人の方にアンケート、インタビューすることにした。

1つ目は、日本で賃貸を借りるときに困った経験。2つ目は、入居中に困った経験。3つ目は、日本で賃貸を借りるのは怖い。4つ目は入居中にあれば便利だなと思うもの。5つ目は入居中に

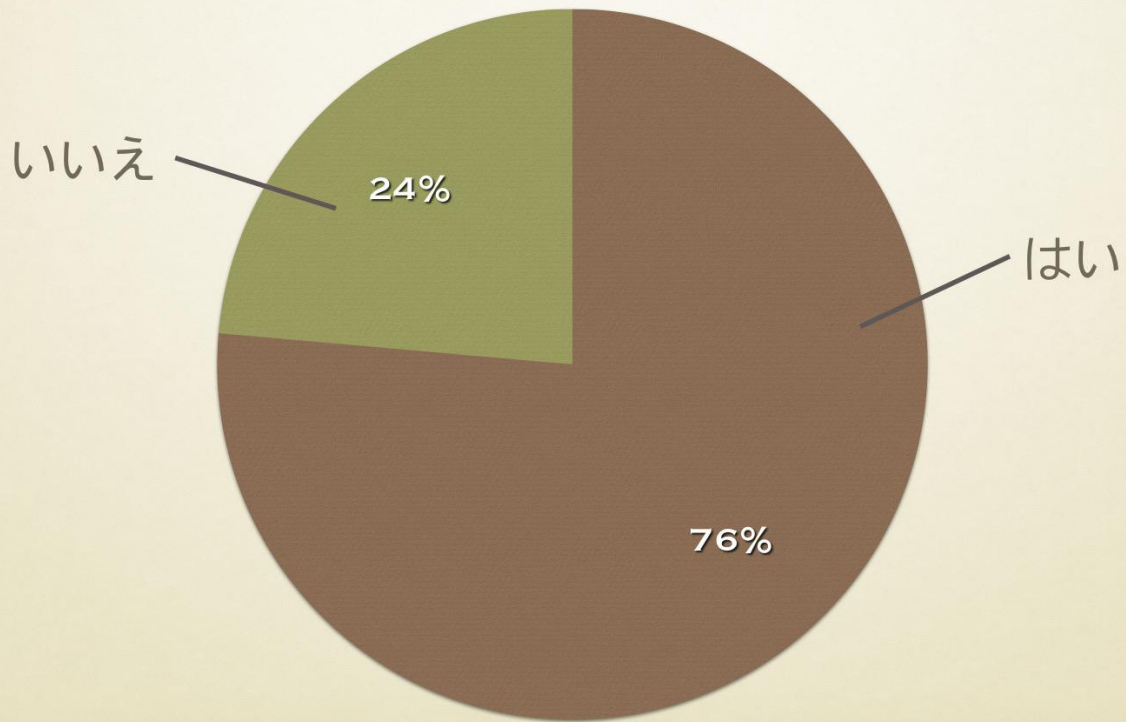
あって良かったもの。6つ目は入居中の説明やルールでいまだに分かっていない事。そして、質問したアンケート、インタビュー内容をまとめた。初めに、アンケートに答えてくださった年齢は、20代から40代の様々な方々に応えてもらった。



また、性別もさまざまで、インタビューでは計4名が答えてくれた。出身国はアメリカの方が多い傾向で、他の国はほとんど同じ割合だった。日本の滞在歴は様々だけど、15年から22年以上が比較的多かった。日本での仕事は英語関係で働いてる方が多く、英語の先生、ALTの方などが居た。

インタビュー結果は以下の通りである。まず、一つ目は日本で賃貸を借りるときに困った経験はあるか質問したところ、「はい」と答えた方が76%だった。

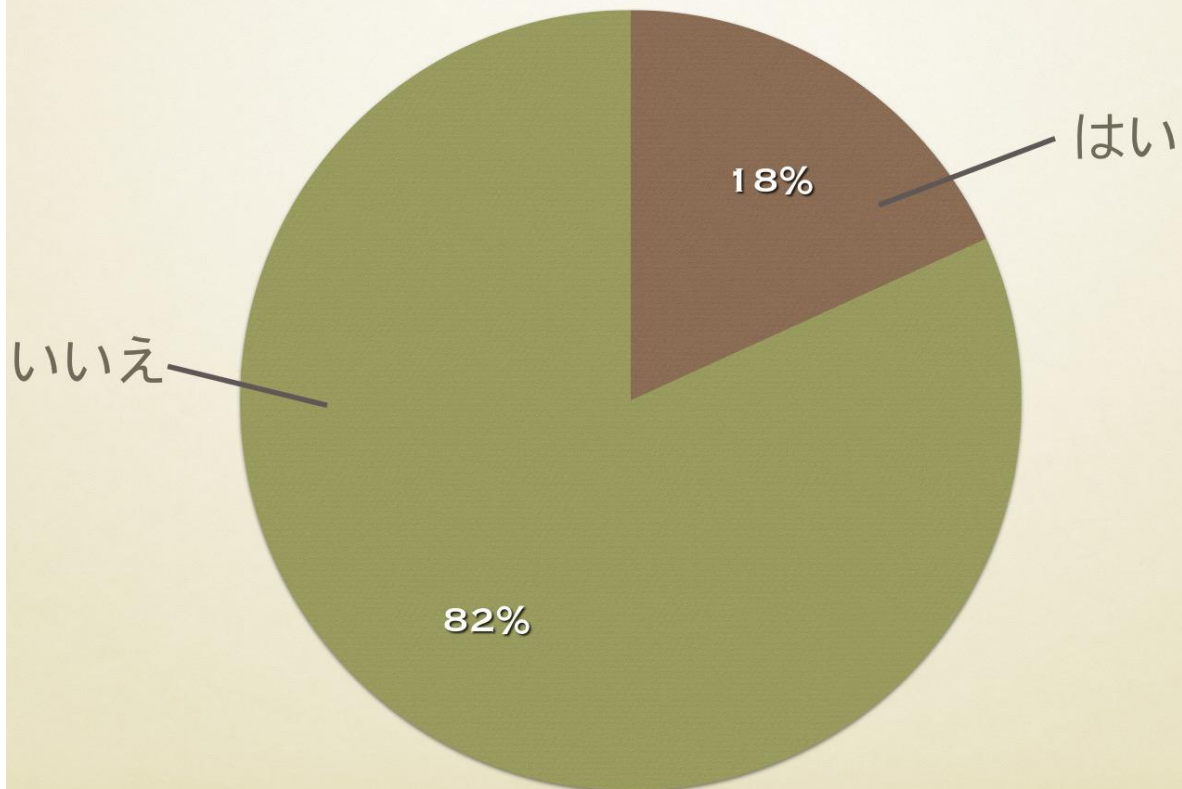
## -賃貸を借りるときに困った経験はありますか-



「はい」と答えた方々の意見では、「不動産屋で外国人という理由だけで断られた」「同性カップルである事を理由に断られた」「保証人を探すのが難しいため」「高額な入居金に驚いた」「日本語を話したり読むことができなかつたため入居を断られた。外国人を受け入れる場所を見つけることが難しい」ということだった。

次に2つめの日本で入居中に困った経験はあるか質問したところ、「はい」が18%と入居中には困っている方は少ないことが分かった。

## -入居中に困った経験はありますか-

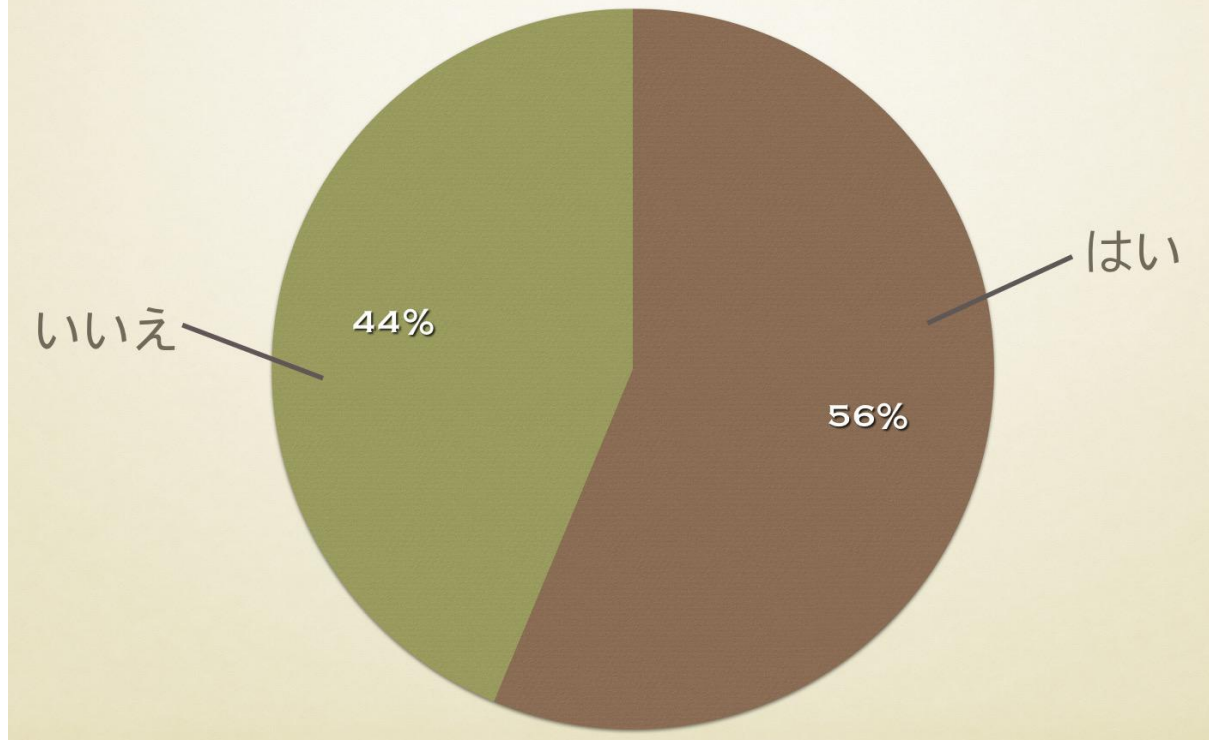


「はい」と答えた方の意見は、「鍵と敷金がどのように機能するのかが分からない」「家賃を支払うタイミングが分からない」「アパートに家具や家電が付いていなくて驚いた」「電気会社に連絡しなければいけない事を知らなかった」「自分はきちんとゴミを捨てたのに住民が、外国人だから、と言う理由で自分のせいにされた」ということだった。

3つめに、日本で賃貸を借りることは怖いかという質問に対しては、「はい」が56%と怖いと答えた方が、比較的多い結果になった。



## -日本で賃貸を借りることは怖いですか-



その理由としては、「コミュニケーションがとれないため」「規則が分からないから」「断られる可能性があるから」「アパートを探すときに人種差別があるから」「隣人からくじょうやトラブルが発生する事があるから」「すべてのルールが分からないから」「頻繁に引っ越すとクレジットカードや永住ビザが、拒否される可能性があるから」などだった。

4つめのあれば便利だと思うことは、「家電などに複数の言語で簡単な説明を掲載してほしい」「費用、インターホン、宅配ボックスなどの細かい説明・日本のルールを全て分かりやすく説明してほしい」「最低限の簡単な英語でのルール説明や契約書・公園やコンビニなどが乗っている大まかな地図」「日本に保証人が居ない人に向けてサポートする会社があれば便利」という意見があった。

5つめのあってよかったものとしては、「不動産の方や、引越し会社の従業員の方が親切だったこと」「日本で書かれたゴミのルールなどを説明する紙をもらったこと」「家主が親切だったこと」などと、人とのコミュニケーションや、親切さが外国人の方たちの助けになっていることがわかった。

6つめの入居中の説明やルールで未だに分かっていないことは、「ゴミやりサイクルのスケジュールを理解する事が難しい」「引っ越す際に近所の方に自己紹介の贈り物を持って行くこと」「保証人の個人情報が必要なこと」「電気がないこと」「礼金の制度は未だになぜあるのか」などだった。

これらのことについて、私達が考えた解決方法は、1, 契約内容に表記する言語の種類を増やすこと2, 日本のルールを知って理解してもらうこと3, そして大家さんや近隣の住民の方々とのコミュニケーションを沢山とり、この家の近くに何があるのかを知る事も大切ではないか、と考えた。そして、外国の文化を理解して外国人に対する先入観や偏見をなくし、相手の事をよく知り、私たちから歩みよる事が解決する道に繋がるのではないかと考えた。

そこで、私たちが考えたのは、多言語対応のウェブサイトを作り外国人が困っている賃貸の問題と解決を掲載することだ。

はじめは、パンフレットを作成し、賃貸の問題と解決についてのパンフレットをSNSで外国人の方に向けて発信したり実際に設置しようと考えていたが、パンフレットでは紙を多く使用しなければならなかったり、設置場所などの問題や、目に入らずに手に取ってもらいづらいなどの問題点が見つかった。

そこで私たちはパンフレットではなく、SNSで簡単に共有しやすいウェブサイトと設置場所に困らないポスターを作り、外国人の方々の助けにならないかと考えた。

ポスターの内容は、奈良県の写真と一緒に学校名、電話番号、WebサイトのQRコードを貼り、外国人の方が読みやすいように、平仮名で掲載し、多くの外国人の方がこのwebサイトを見つけられるようにしようと計画中だ。

また、設置場所は、ポスターなので場所も取らないため駅や不動産のところなどで貼らせて頂けるか検討している。

webサイトでは、初めに自分達についてやその思いを掲載し、次に奈良県専用のゴミの日にちが載っているアプリの紹介から、自分の地区の設定方法等を説明している。

そして、大まかな簡単な契約内容、保証人会社や、不動産、外国人サポート会社などの電話番号、奈良市のマップのURLを掲載している。

しかし、いろいろ掲載しなければならない事があり沢山の確認も必要になってくる為まだ現段階では準備中だが完成すれば必ず外国人の方々の助けになると考えている。

最近ではウクライナとロシアが戦争をおこなっていることにより、両国からの避難民が日本に来るので、その避難民の方々の手助けができるようにどこに居ても見る事ができる気軽なサイトをいち早く沢山の方々に発信していきたいと考えている。それで少しでも多くの方の手助けをして、より外国の方々にとって住みやすい環境にすることができればいいと思う。そして、これらの問題はすぐに解決できる物ではなく、先入観など個人の考え方の問題でもあるので、今の私達にはサイトを作って少しでも情報を発信していくことしかできない。なので、今回私達が活動した内容を国際生だけではなく多くの人に知ってもらい、外国の方に対して日本人がすべき対応にさまざまな問題があること・外国人に対する先入観や偏見を無くさなければならないということを沢山の人の知って欲しい。

そして、私のこの探求での目標が国際結婚をする際に外国人の方々に降りかかってくる問題が何なのかということを知り、将来結婚式場に訪れる方の中の、賃貸に関する問題を持っているお客様のお手伝いをする事なので今回学んだ事をいつか生かせる事ができる様に日々探求をしていきどんどん私の中に情報を貯めていきたいと思っている。この成果を出せる時が一回でもあればいいとおもう。